

2024年5月7日、入院患者さん（1名）に行った血液培養からニューデリーメタロβラクタマーゼ（NDM）遺伝子を持ち、カルバペネム系などの抗菌薬に耐性を示す大腸菌が検出されました。

大腸菌は、健康な方には感染症を発症させることはありませんが、免疫力が低下した方には問題となることがあります。そのため、この耐性菌が拡散しないように嚴重な感染対策を行う必要があります。

当院では管轄の保健所の指導のもと対応しており、当該患者さんには感染対策を強化し、原疾患および感染症の治療を継続させていただいております。また、現時点で他の患者さんや職員には感染拡大がなかったことをご報告させていただきます。